

フォルテ第4四半期売上が30%増加、2008年は記録的な収益を達成 NXP、東芝情報システムからの大型注文を受注し2008年を終了

カリフォルニア州サンノゼ 2009年2月10日 フォルテ・デザイン・システムズは、2008年が収益、契約ともに記録的な年となったことを発表しました。2008年は第4四半期の売上が30%の増加となり、高位動作合成ツールのベンダーとして確固たる地位を確立しました。

2008年は、フォルテの歴史において四半期ベースでトップ3に入る期が2期あり、これは、日本で東芝情報システム、欧州でNXPを含む複数の多国籍大企業との複数年契約によるものです。

東芝情報システム 第二LSIソリューション事業部の事業部長である西郷孝氏は次のように語っています。「東芝情報システムは数年来のフォルテの顧客であり、現在出荷されている様々な製品で、フォルテのCynthesizerおよびSystemCを使用し、成功を納めています。先日、私共はフォルテとの契約をさらに3年間延長しました。これにより、私共はお客様に対して高度な新製品をカスタム開発することが可能になり、時間と総コストを削減することができます。」

2008年の主要な出来事としては、フォルテの高位動作合成ツールであるCynthesizer™が新バージョンをリリースしたことが挙げられます。制御系設計の最適化や、電力、ECO(Electronic Change Order)管理、グラフィック ユーザー インタフェースなどの合成結果の品質(QoR)向上のための機能が追加されました。Cynthesizerのフロー自動化環境では、より多くの電子システム レベル(ESL)およびレジスタトランスファ レベル(RTL)のツールがサポートされるようになり、これまで同様、あらゆる高位動作合成製品の、広範囲なサードパーティのツールに対してサポートが提供されています。

世界中のエンジニアが、自動車、記憶装置、ビデオ、無線、画像、印刷、その他のアプリケーションに使用するチップの設計にCynthesizerを採用しています。これらの設計の多くはテープアウトに成功し、世界各地から大量のシリコン製品として出荷されています。

フォルテの社長兼CEOであるSean Dartは次のように述べています。「2008年はフォルテと高位動作合成の両方にとって大きな飛躍の年となりました。これは、世界中の設計チームがその主要なフローにCynthesizerを組み込んだことによるものです。経済状況が困難に直面している時期でさえ、将来への投資と、コストの削減を可能にする独自の価値を設計チームに提案することにより、業績を拡大することができました。」

フォルテ・デザイン・システムズについて

フォルテ・デザイン・システムズ(Forte Design Systems)は抽象度の高い設計を可能にするソフトウェア製品を提供する先端企業です。フォルテの革新的な動作合成技術により、設計チームはASIC、FPGA、SoCを使ってアルゴリズム デザインから複雑な電子システムを開発し、設計および検証に要する時間を大幅に短縮することができます。フォルテ本社住所は100 Century Center Court, San Jose, CA 95112。詳しくはフォルテのホームページ www.ForteDS.com をご覧ください。

* 記載されている会社名、製品名は一般に各社の商標または登録商標です。

----- 本件に関する報道機関からのお問い合わせ先 -----

フォルテ・デザイン・システムズ株式会社 山田

電話 045 - 478 - 2268

E-mail: yamada@forteds.com